

あつみ ようちえん通信

vol.39 2022

企画・編集・(株)ASO



あつみのピカイチ☆三

年長
さんの

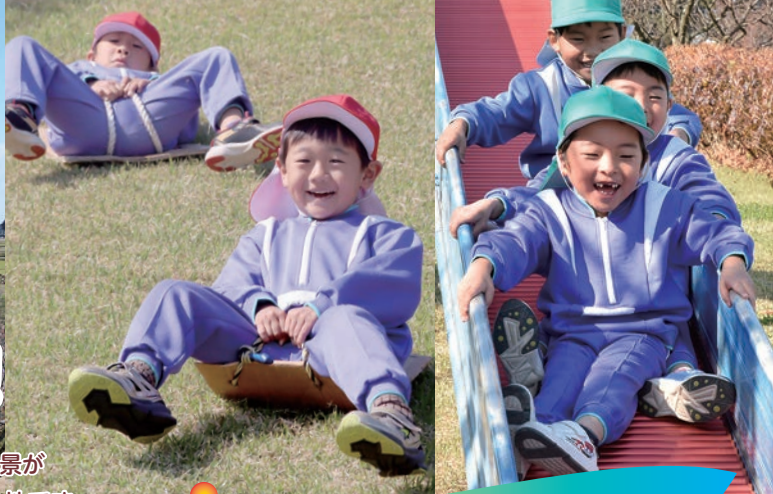
おひさま保育

『芝滑り』に行ってきました!
スリルいっぱい、疾走感がたまらない。



自然の中で 風を感じて！ Let's 芝滑り おもしろくって、楽しくて 何度も何度も滑ったよ！！

園バスを走らせること約40分。目的地の蔓巻公園はのどかな田園風景が広がり、公園中央の築山からは360度周囲の山々を遠望できる絶景の地です。芝滑りをするのは築山の斜面、傾斜は40度近くありそう…。ワクワクドキドキで築山に向かいます。 レポーター おきもとさちこ



おひさま保育



うれしくてたまらない、 笑顔がはちきれちゃうよ～

見下ろすとかかなりの急斜面です。ドキドキしながら不安げに滑り始める子どもたち。ところが「ワァ～」「キャ～」「おもしろ～い」の歓声が瞬く間に湧きおこります。滑っては坂道ダッシュで登り、再び滑るを飽くことなく繰り返す子どもたち。爽やかな秋空に笑顔が満開でした。

普段はおとなしい子も笑顔いっぱい。 本当に楽しそう！

「園内ではおとなしい子なんですよ」（先生）という子も、お友だちと一緒にとても楽しそう。「みんなと滑れた！」ということが自信につながっていくのかもしれない。「こんなことをしたよ！」「できたよ！」と、帰園するや誰かに話したくなりそう。得意げにネ。



園の外に出かけると、「この子にはこんな面もあった」という発見がよくあります。園内とは違った環境で多様な体験ができる『おひさま保育』は、子どものいろんな面を引き出すよい機会にもなっています。（担任）

このように、使っています。



滑り方と約束

●段ボールそりの使い方

段ボールの網を両手で持つ／お尻に敷く／両足を広げる
体重を背中の方へ移す

●約束

滑り終わったら芝の両はじから坂を上ってくる



斜度はきつそうに見えますが、この斜度が子どもの背中を押してくれます。1、2回滑ると自信をつけてどの子も平気で滑り出すようになりますよ。（副園長）



←左記QRコードから当日の「芝滑り」の様子がご覧になれます。
<https://youtu.be/rVOYGIakmNw>



光2組のお友だち



光1組のお友だち



おにぎり弁当で腹ごしらえ。 まだまだ滑るよ～！

たっぷり1時間遊んだところでランチタイムに。昼食は各自お家から持参したおにぎり弁当です。大きなおにぎりもべろりと平らげてしばしの食休み後、なんと芝滑り再開。ターザンロープやローラー滑り台で遊ぶ子もいて、疲れ知らずの子どもたにもう脱帽です。



おひさま保育で出かける先は、 ほぼ14箇所(卒園までに)



おひさま保育では、園バスに乗って30分程度を目安に自然公園、農園、科学文化施設などに出かけています。幼稚園周辺には素晴らしい所がたくさんあります。これをきっかけにご家族でも出かけていただくと嬉しいです。(手焼きせんべい体験は1時間ほどかかります)(園長)



取材を終えて

驚いたのは子どもたちのテキパキとした動きです。取材する私たちも置いていかれそうで慌てる場面もありました。視界の開けた公園に吹く風は爽やかで、久々においしい空気を堪能した取材でした。

